ClubCup2010 in Komagane Highland

２０１０年（第１８回・最終回）　　９月１９日（日）

クラブカップリレーオリエンテーリング大会

前日はスプリントとクイックＯ（賞金レース）
翌日はリベンジレースと駒ヶ根(広域)ロゲイニングの３日間大会
２０１０年９月１８日（土）～２０日（月・祝）

プログラム

クラブカップ最終回！

今年の夏の猛暑はここ駒ヶ根でも半端なものではありませんでした。ようやく下界にさきがけて、エアコンの必要のない毎日が訪れています。天気予報によると大会の頃はさらに秋らしくなってくるとのこと、あとはみんなで大いに遊ぶ日々の快晴を願うばかりです。さて、前からお知らせしておりますように、18 年間続いたクラブカップと称する大会は本大会をもって最終回とさせていただくことになりました。今までのご愛顧、本当にありがとうございました。そして、今回の大会にも大勢の参加申込みをいただきました。ありがとうございます。2004年に駒ヶ根で開催したプログラムで、オリエンテーリング事業の永続化を考えて会社化したことを延べていますが、ここ数年のオリエンテーリングの環境は、会社事業であるが故に逆に自分にとっては全く幸せな状態ではなくなってしまい、この辺で幕を下ろすことにしました。（クラブ全体で楽しめるこういう大きな場の継続的な提供方法含め）詳しいことは当日の終了挨拶で述べさせていただきますが、今後は自身の個人資質を発揮しても不幸せにならないような生かし方で細々とこの世界に貢献していきたいと思います。最後ですので目一杯楽しみましょう。そのための場所として、私にとっての聖地のひとつである駒ヶ根を選びました。また会場周りのレイアウトもできるだけシンプルにして、最後を失格で終わることが少なくなるようにしてみました。参加される皆さんも最後にふさわしい楽しみ方をしていただければ幸いです。以下、毎年書かせていただいている内容ですが、クラブカップは上位を目指す者だけの舞台ではありません。7つの区間それぞれで課題が異なり、クラブの中のあらゆる人が、年齢や男女に関係なく全員で参加して楽しむ形態を取り続けています。全員でベストを尽くすこと、そして仲間とオリエンテーリングを楽しむこと。それがクラブカップの目指す姿です。最後に、本大会開催に当たり、地元駒ヶ根市、駒ヶ根市観光協会、会場である（株）中央アルプス観光様には絶大なるご協力とご理解をいただいておりますことに感謝申し上げます。

（主宰：山川克則）

主催：ジェネシスマッピング
後援：駒ヶ根市・駒ヶ根市教育委員会

協力：駒ヶ根高原家族旅行村（中央アルプス観光）
長野県オリエンテーリング協会
orienteering.com

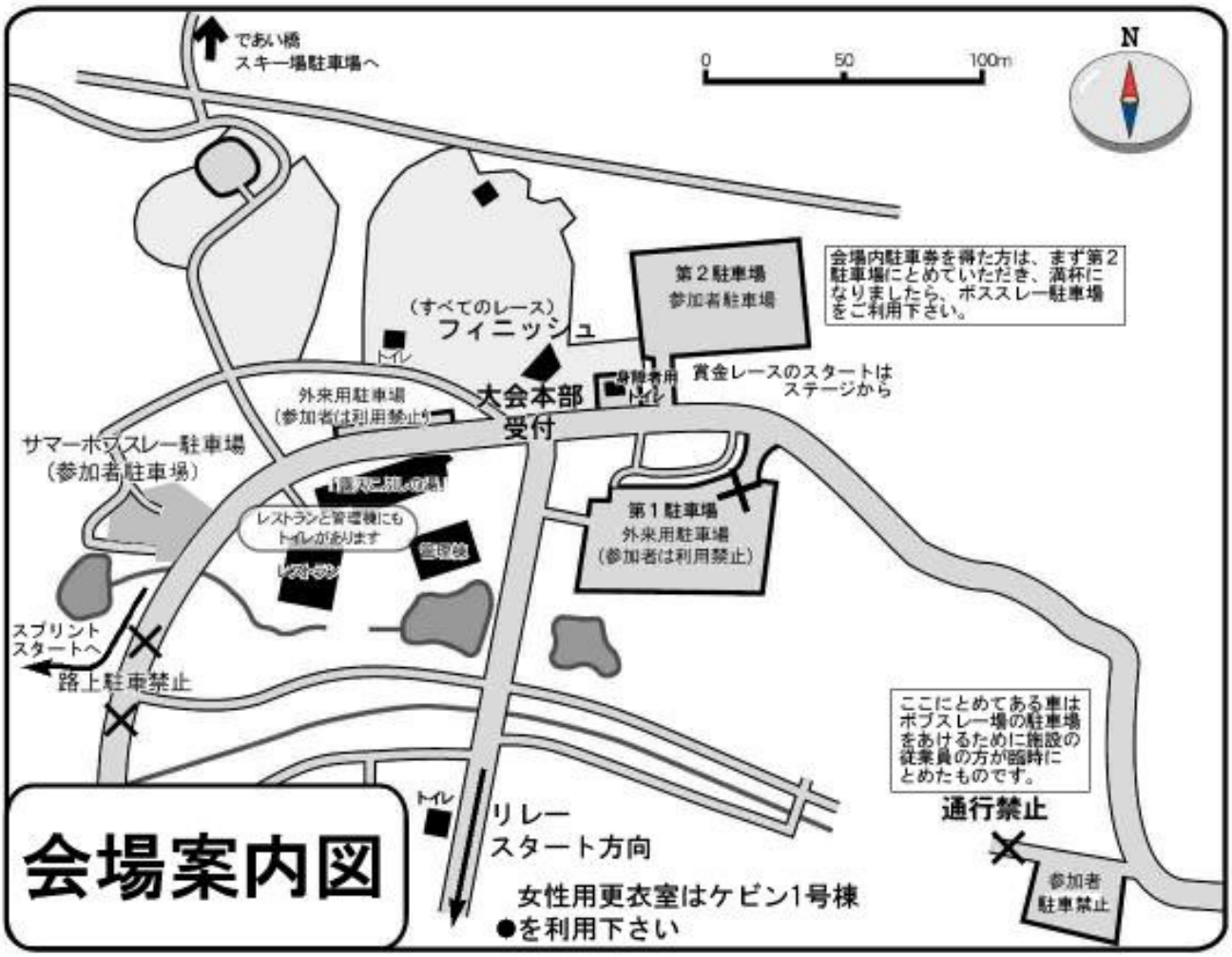
タイムスケジュール　　会場はすべて駒ヶ根高原家族旅行村芝生広場野外音楽堂前

開催日		受付時間	スタート	フィニッシュ閉鎖
9/18(土)	駒ヶ根スプリント 2010	11:00～13:00	12:20～13:43	14:43
	賞金レース(クイック＆ラビリンス O)	14:00～15:00	15:10～15:40	16:15
	同上:エキシビション		15:45～16:00	
	世界選手権報告会	17:00～18:00	会場はレストラン	
	クラブカップリレー受付	11:00 より随時	オーダー票〆切(紙:17:30)	(メール:20:00)
9/19(日)	クラブカップリレー最終回	8:00～8:30 開会式は 8:40	9:00(クラブカップ) 9:10(ベテランカップ)	16:00(予定) 閉会式は 14:30 頃
9/20(月)	駒ヶ根ロゲイニング 2010(5時間競技)	7:30～8:15	9:00	14:30
	クラブカップリベンジレース	9:15～11:45	9:30～12:00	13:00

会場への交通案内(テープ誘導は設置しません。プログラムの図のみで案内)

【自家用車】中央自動車道「駒ヶ根ＩＣ」より、2.4km。

【公共交通】新宿駅、および名古屋駅より高速バス便があります。「駒ヶ根インター」下車、2.4km



駐車場案内（前回の当会場での駐車指示と違う部分がありますので、よく読んで思い込みで行動しないようにお願いします）

いずれの駐車場を利用する場合も、駐車券は web よりダウンロードの上、各自で印刷しクラブ名を明記の上、ダッシュボードの上に外から良く見えるように置いて使用してください。

駐車場の整理案内員は置きませんので、利用者同士で譲り合ってお互いの迷惑にならないように利用して下さい。

また相乗りなどで来場する車の台数を減らして、駒ヶ根の環境に対する負荷を少しでも軽減するよう重ねてお願いします。

【会場内駐車場】

クラブごとの駐車可能数を、web にてご案内しています。この台数を超えての使用は厳禁です。

まずは、図の第２駐車場から使用してゆき満車になったら、ボブスレー場下の駐車場を利用して下さい。（ボブスレー場下駐車場は、通常は従業員の方が利用している場所ですが、図の説明のように大会期間空けていただき、オリエンテーリング参加者が利用できるようにしていただきました。）

オリエンテーリング参加者は、指定した２箇所以外の会場内への駐車は厳禁です。一般の利用者の方も多いです。迷惑にならないようにお願いします。

スキー場駐車場利用者の方が同乗者を会場まで送迎することは可能です。

駐車券は、18 日・19 日通して共通で使用するものです。

【スキー場駐車場】

こちらも申込みで申告した台数以上の駐車はご遠慮下さい。

会場へは図のように徒歩で来場下さい。（約 1.4km、テープ誘導は設置しません。）

保険について

本大会では普通傷害保険（行事参加者の傷害危険担保特約条項付帯）に加入しています。（引受保険会社:AIU保険会社）
保険適用期間　2010年9月18日～20 日
対象　大会会場、及びオリエンテーリング競技中の偶然な事故による大会参加者のケガ
（但し、約款等で規定された適用外の事故を除く保険金額）
保険金額　（1名あたり）死亡／後遺障害：250万円（後遺障害保険金は後遺障害の程度に応じて死亡・後遺障害保険金額の3%～100%））、入院（日額）：3，000円、通院（日額）：2，000円
この傷害保険についての問い合わせ、保険金の請求先は以下の通りです。
AIU保険会社代理店：株式会社東京セントラル　担当／野田
TEL：03-3364-1717 FAX：03-3364-6324
参加者の方は、開催地までの移動時の事故等に備えて、各自で国内旅行保険に加入することをお勧めします。500円～1000円程度で各旅行会社、保険会社等で取り扱っています。

駒ヶ根スプリント2010　　９月１８日

まずは会場となる、駒ヶ根高原家族旅行村の施設内で、かるーく足慣らし、公園部分と森の部分を複合したレースになります。とはいっても森の部分の大半が、今回新規に地図を作成する範囲で、古城跡の地形がメインになります。かなり正確なナヴィゲーション能力が必要であると共に、普通に山の中も走りますし、藪切りもありますので、短パンでの出走はあまり薦められません。

◆会場・更衣室

青空会場です。フィニッシュレーンを妨げないように適宜陣取って下さい。また、次メニューの、クイックＯ用の園芸ポールがあちこちに挿してある部分は準備を行う時刻（14時頃）から空けていただくことになりますので、その点もよろしくお願い致します。女性用の更衣室は、ケビン村の最初に左側のある棟（１号棟）をご利用下さい。公衆トイレの位置とともに図を参照して下さい。会場レイアウト図は、フィニッシュレーンと本部・受付のみなので省略します。

◆競技形式・通過証明方式・優勝設定時間・競技時間

ポイントオリエンテーリング。スプリント種目。位置説明はＩＯＦ記号。Emit社のe-card使用、マイcard使用可能。優勝設定時間は、各クラスとも15分程度。競技時間は１時間。

◆受付　併せてクラブカップ受付も随時行っています

事前申込みの方の配布物は基本的にセルフサービスでピックアップしていく方式となります（レンタルe-card、バックアップラベル、コントロール位置説明）。過不足金などで特段の用件のある方のみ、個別に本部にて対応致します。
e-cardの“クラブカップレンタル分流用”で申し込まれた方は、クラブカップ受付もスプリントレース前に済ませて、必要物を受け取っておくようにして下さい。該当のe-cardには、カードの背中側に、クラブカップ用のID、お腹側（バックアップラベルを装着する側）にスプリント用のIDが記載されたバックアップラベルを装着しています。必ず指定されたものを使用してスプリントの競技を行って下さい。

◆当日参加

すべてのクラスで、当日参加を受け入れます。新規範囲の古城跡がメインと聞いて、急に参加したくなった方大歓迎です。事前参加の500円増しで参加できます。当日参加希望の方は、会場備え付けの所定の用紙に必要事項を記入して、参加費（必要額は用紙内でご案内しています）とともに、受付に持参下さい。スタート時刻を指定し、半券をお渡しします。この半券は、必ずスタート地区まで携行し、スタート役員にお渡し下さい、半券がないとスタートできません。忘れた方は遅刻スタートということで、取りに戻っていただきますので、ご注意下さい。

◆公式掲示板

当日までに生じた変更、重要なお知らせなどは、本部横の「公式掲示板」でご案内致します。必ず出走前に内容をご確認下さい。

◆コース設定者

山川克則

◆地図

「アルプスの丘・荒城史跡2010」　Ａ４判、JSSOM2007
縮尺　１：４，０００　等高線間隔　２．５ｍ
走行可能度　４段階＋通行禁止の緑の５段階表示
耐水用のビニル袋はチャック付きを用意しておきますので各自で入れる方式です。また自分のコースの地図もスタート後に各自でピックアップする方式です。

◆クラス・コース距離

まだ調査中ですので、コース決定次第掲載いたします。

１コース　Ｍ２１－１　　約３km
２コース　Ｍ２１－２　　約３km
３コース　Ｍ３５
４コース　Ｗ２１
５コース　Ｍ２０，Ｍ５０
６コース　Ｍ１８，Ｍ６５，Ｗ２０，Ｗ３５，Ｗ５０
７コース　Ｗ６５
８コース　チャレンジ，Ｍ１２，Ｍ１５，Ｗ１２，Ｗ１５，Ｗ１８

◆スタート　位置関係は案内図を見てください

スタートまでは本部より黄色テープ誘導で500mです（かなり登りますので、時間に余裕をもって準備下さい）。
スタートではまず枠入口にある試験用起動ユニットで、e-cardの動作確認を行って下さい。赤いランプが点滅すればＯＫです。万一動作していないカードがありましたら役員に申し出下さい。予備のカードと交換致します。
３分前になったら枠にまとめて入ります。（コースごとにレーン分けしておらず、そのスタート時刻の方がまとめて入ることになります）。その後役員の出走チェックを受け１分ごとに前の枠に進みます。
１分前の枠で、各自で地図入れ用のチャック付きビニル袋をピックアップします。10秒前くらいに、e-cardをスタートユニットに装着します。（このときどのユニットを使用するか該当クラスを掲示します）
スタートチャイマーの音が鳴ったら同時にe-cardをユニットから離脱します。そして、自分が走るコースの地図を自分で取りに行きます。耐水用ビニルに地図を入れて、チャックで止めれば準備完了、競技の開始です。
当日参加の方は、受付でもらった半券を必ずスタートまで携行し、スタート役員にお渡し下さい。半券を携行しない場合、スタートできません。忘れた方は遅刻覚悟で会場まで取りに戻ってもらいますのでご注意下さい。
遅刻スタートの方は、その旨を役員に伝え、指示に従って下さい。

◆競技

コントロールは指定された順番に回ってください。
通過証明は、e-cardをユニットにしっかりとはめ込んで下さい。
使用するシューズに制限はありません。
競技途中（後半）で会場に向かう一般車両の通行と交差する場所があります。横断の際の安全確認は、各自の責任で行って下さい。

◆フィニッシュ

最終コントロールからは、赤白テープ誘導に従って下さい。
フィニッシュの位置は、アルプスの丘ステージ前になります。
フィニッシュは、パンチングフィニッシュ方式です。フィニッシュに置かれたユニットにcardをはめ込んだ時刻がフィニッシュ時刻となります。
フィニッシュ後、順番を崩すことなく、card記録の読取りを行います。順序良く速やかにお進み下さい
失格と判定された方には、失格が確認できる資料をお渡しします。その上で、不審点・疑問がある場合のみクレーム申告を行って下さい。
フィニッシュ閉鎖時刻は14:43です。レース途中であっても、また棄権する場合も、必ずフィニッシュは通過して下さい。帰還確認がないと、行方不明者となり、大変な負担が運営側にも参加する方にも生ずることになります。
フィニッシュでは地図は回収しません。未スタートの人には地図を見せないようにお願いします。
土曜のレースをレンタルe-cardで参加し、次の賞金レースに出場しない人は、自ら申し出て、フィニッシュ後そのまま回収という形で返却するようご協力下さい。

◆速報

速報は一覧表形式で掲示するほか、迅速にラップセンターにアップロードし、携帯でネットアクセスして情報が取得できるように努めます。

◆表彰

各クラス３位までに入った方には、賞状を翌日までに用意して、公式掲示板近くにおきますので、各自でピックアップして持っていって下さい。

◆地図販売、その他の販売物（コンパスなど）

随時行います。
各クラブからのインフォメーションの機会・場所なども提供します。

◆キッズＯ

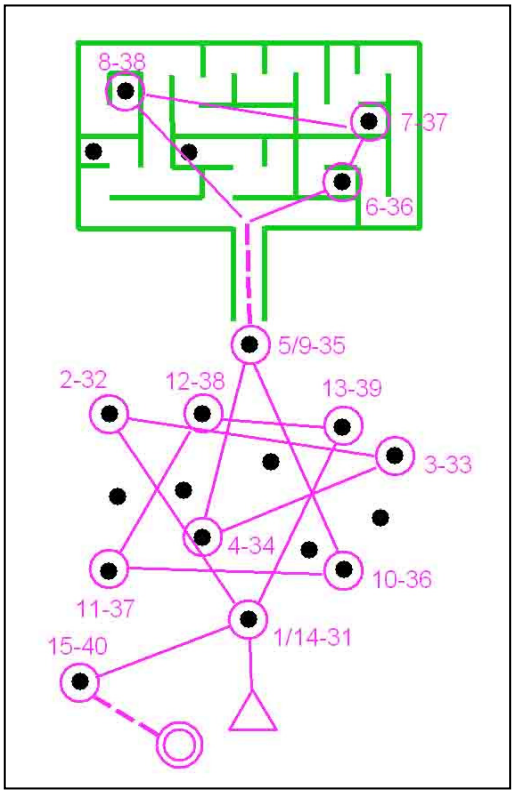
小さなお子様用、観戦の家族連れ様用に、簡単で気軽に楽しめる1km未満のコースを用意します。参加費２００円・当日申込のみ（お子様には参加賞があります）

賞金レース（クイック＆ラビリンス-迷路-Ｏ）

９月１８日

次は最近各地で行われ始めた、lookupと方向走のみに特化した種目を、最も盛り上がるであろう賞金レースとし、しかも衆人環視の中で行ってみます。パターン分けはありますが全員が同じ距離（ベストルート）のコースを走ります。ちょうど図ったように適正規模の参加者数をいただくことができました。よって当日参加はお断りさせていただきます。（短い時間での煩雑な受付に割く余力がありませんのでご理解下さい。出場できない方は観戦でお楽しみ下さい。）

賞金の還元率は、後述のように大盤振る舞い致します。下位の方にもモチベーションが落ちることのないような工夫をしていますので出来る限りの自己ベストを目指してみてはいかがでしょうか？



クイック＆ラビリンスＯの概念図

●がフラッグとコントロールユニットのある位置、左の数字が回る順、右の数字がユニットのコード番号、ディスクリプションはなく、スキーＯやＭＴＢ－Ｏのコース表示方式と同じになります。ラビリンスの部分は、もちろん緑の線をまたいでいくことはできません。（手だけまたいでチェックすることもできません）、行けるルートを地図と実際の現地を対照して判断することになります。実際はもっとこれより複雑になりそうですが、どこまで手間かけられるかという現実の問題を解決しながら対処していくことになるでしょう。

◆スタート・競技他一般的競技事項

競技に参加する方は役員が呼びかけましたら、ステージ裏の場所に集合して下さい。（競技している様子があまり見えない場所になります。）ステージ上から３人ずつ30秒おきにスタートしてゆきます。地図の裏には、名前などが記されています。また必ず事前に登録したe-cardを使用してください。（変更のある方はすみやかにお申し出下さい。）競技・フィニッシュ・e-cardの読取などの説明は、前のプログラムであるスプリントと同じなのでそちらを読んでおいて下さい。

優勝設定は３分程度を予定しています。

本日のみレンタルでe-cardを使用した方は、当日中の返却にご協力下さい。

◆エキシビションレース

あらかじめこちらで選んだ15名の方には、エキシビションレースとして、いったん全員がフィニッシュした後、一人ずつ1分おきにスタートし、リアルタイム実況の下、競技していただきます。実績を元に選考させていただきましたが、数名枠をあけてあります、また指定選手の欠席などで枠が空いた場合も、エキシビションは15名になるように、自薦・他薦で選手を一般枠から補充します。我と思わん方はお申し出下さい。

◆賞金対象

より上位の賞を優先とし、複数の賞を受賞することはできませんが、足の遅い人にも、高齢者の方にも賞獲得のチャンスがあります。

全体で１位	2万円
女子１位	1万円
2位	8千円
3位,女子2位, 50歳以上1位	5千円
4位, 5位, 50歳以上女子1位	3千円
6位,女子3位～6位,65歳以上1位,65歳以上女子1位	2千円
1桁の順位がゼロの人	1千円

審査員特別賞を出すかも・・・・

クラブカップリレー受付

９月１８日11時より随時

エントリー時の申込み単位ごとにまとめて封筒に入れて必要物を配布します。封筒に入っているものは、以下の通りです。

- ナンバーカード（１枚。体の前面につけて下さい）
- クラブカップリレー用にレンタルしたe-card（前日レースに流用の人はバックアップラベル側に個人レース用のIDを記入してはめ込んであります。（個人レースでは必ず指定のカードをお使い下さい）
- クラブカップリレー用バックアップラベル
- オーダー表（一応入れておきますが、事前にwebから落として印刷して用意しておくことを強くお薦めしておきます）

ナンバーカードをとめる安全ピンは、参加者側でご用意下さい。（若干数は受付でも販売します。1人用￥５０）

オーダー表の提出期限は、紙の場合、本部に17:30まで、メール（PC,携帯）の場合20:00です。

また、18日午後16:40より、ステージ前にてテクニカルミーティングに類するものとして、若干の質問にお答えする機会を設けます。出席は義務ではありませんが、出ておいた方が有利な情報が得られることにはなるでしょう。

◆オーダー表の提出

【書式／紙による提出】

本冊子の巻末にある書式を使用して、18日17:30までに本部に提出して下さい。書式は本部にも用意しておきます。

【メールによる提出】

以下の書式に従って、ＰＣ・及び携帯より18日20:00までに送付下さい。サンプルとなるテンプレートファイルをwebの方にも用意しておきますので、それを事前にダウンロードして準備しておくことをお薦めします。

送り先:clubcup@genesysmap.co.jp
件名:(チームNo.)クラブカップオーダー提出

(チーム No.),正規 orOPEN, 特別表彰
(走順半角),(氏名),(年齢半角),(性別)
すべての走順を書いてください。
各項目は半角コンマで区切ってください。
前日会場に居ないチームは午後8時までにテキスト書式でメール送信
【例】
件名:000 CC オーダー表提出

000,正規,over300
1, 駒ヶ根早太郎,99,男
2, 中割美森,20,女
3, 光前寺舞路,65,女
4, 越百克人,32,男
5, 赤穂 歩,15,女
6, 伊那朗面,37,男
7, 宝剣直人,25,男

世界選手権日本選手団報告会

９月 18 日（土）17:00～18:00　家族旅行村レストランにて
2010 世界選手権（ノルウェー）　2010 世界学生選手権（スウェーデン）2010 世界ジュニア選手権　他（WTOC、MTB-WOC ？）
参加者は、レストランのメニューから何か一品ご注文下さい。
問合せ：西脇　<mnishi●edit.ne.jp>　●=アットマーク
090-1792-5672

クラブカップリレー最終回　　９月１９日

年1回のクラブ競技の祭典。フィンランドのユッコラを範にした本大会もとうとう最後になりました。今までどんなレベルの人にも参加していただけるようにと、色々なルールを考え実践してきましたが、ちょっと複雑になりすぎた面も否定できないな、と反省しています。

最終回となる今回では、その思いは踏襲しつつも基本に立ち返り、７人（ベテランは４人）で戦っていただくルールに戻しました。その分、４走、５走（特に５走）をできるだけ簡単なコースにして対応します。また、ビジュアル面重視で、会場周りを何度も周回するコースが多くなり、その分コースの形が複雑になりすぎ、不意な失格を誘発する例もまま見られるようになってきました。今回のリレーはその点ビジュアルこそありませんが極めてオーソドックスな回しにしてあります。最後のクラブカップリレーを失格で終わることの無いよう、しっかりと記録を刻んで楽しんでいって下さい。リスタート前ギリギリで継走し、やっとか完走できたチームの充実感もひとしおです。今までそういう顔を何度も見させていただいてきました。会場は、今までも何回もお世話になった家族旅行村の芝生広場ですので、応援にはビジュアルがなくとも十分な環境が提供できると思います。

◆　タイムテーブル

※前日の所定の時刻までに必ずオーダー表を提出して下さい。
（紙では17:30まで、メール／PC・携帯/は20:00まで）

7:45	開場
8:00～8:30	受付（なるべく前日のうちに済ませて下さい）
8:30	当日変更のメンバー提出〆切（事情書添付） 地図封筒配布
8:40	開会式
8:45	競技説明
9:00	クラブカップクラススタート
9:10	ベテランカップクラススタート
10:00頃～フィニッシュ閉鎖まで	キッズ○
12:00頃	ベテランカップクラス優勝チーム確定
13:00頃	第１次リスタート（５走までの未出走者）
13:15頃	クラブカップクラス優勝チーム確定
14:20頃	第２次リスタート（６走・７走の未出走者）
14:30頃	表彰式・閉会式
16:00頃	競技終了（フィニッシュ閉鎖）

※当日の天候、競技の進行状況によって、タイムテーブルが変更になる場合があります。その場合には放送などで案内しますので、チーム内で注意しあっていて下さい。

◆会場

開場は7:45です。アルプスの丘芝生広場下面（上面／ベルの丘／は競技エリアとなりますので陣取り禁止です）、上図のねずみ色の部分に陣取って下さい。テント・タープの設営も可能ですが、芝生を痛めないようなペグを使用してください。（本格的な長期野外生活用のものでなければ大丈夫かと思います）夜間のテント設営はできません。女性の方の更衣室は、ケビン村最初の棟（左側）の１号棟になります。なるべく、クラブでテント等をご用意いただくのが良いと思います。トイレの位置は３ページ前の図面を参照して下さい。また、過去にレース後、泥だらけの姿のままお風呂に入場し、施設に大変な迷惑をかけたことがありました。泥を落とす水道の位置を看板設置で明記しておきますので、必ず泥をきれいに落としてからお風呂には入場するようにしてください。

◆受付

当日の受付時間帯は8:00から8:30までです。受付での配布物の内容は前ページを見てください、なるべく前日のうちに受付を済ませておくようにお願いします。

当日になってのメンバー変更提出は、正規チーム対象となるのが、8:30を〆切とします。また、メンバーのやりくりなどで、レース中にメンバー変更を行う場合も必ず、変更届は提出して下さい。（オープン扱いとなりますが、後処理に大きな支障が生じますので、変更用紙は、必ず提出して下さい）

◆地図配布受付（重要！セルフサービス）

リレー地図配布方法について、昨年までと大きく違う部分です。8:30になりましたら、ステージ前にて、チームごとにまとめて競技地図を封入した封筒をお渡しします。競技地図は封筒の中に二つ折りにされて、セロテープで２箇所止めています。各自の競技前には特に悪意が無い限り覗き見ることはできなくなっています。スタート準備する段になったら、各自で地図を折ったまま携行し、チェンジオーバー後地図を開くことで、競技を開始します。

◆ナンバーカード

一人１枚です。体の前面につけてください。安全ピンは各自でご用意下さい。（若干数は受付でも販売します。1人用￥５０）

番号は４桁で、そのプロフィールは以下のようになっております。

上３桁・・・チームナンバー、　下１桁・・・走順

０００・・・無料＆運営チーム　長野県協会

００１～０４６・・・クラブカップ正規チーム（前回順位反映）

１０１～１４９・・・クラブカップ正規チーム（前回順位なし）

２０１～２５２・・・クラブカップオープン参加チーム

３０１～３０４・・・クラブカップ耐久系参加チーム

４人ものクレージー参加がいますので、目立つように別枠にしました。

５０１～５０５・・・ベテランカップ正規チーム（前回順位反映）

５５１～５６２・・・ベテランカップ正規チーム（前回順位なし）

６０１～６１７・・・ベテランカップオープン参加チーム

◆e-card

リレー競技のe-cardに関しては、、フィニッシュ後ナンバーを入力する方式で行いますので、誰がどのe-cardを使っても構いません。リスタートのことの考えると、チームできちんと継走するためには、３枚のカードが必要です。この日はレンタルe-cardのフィニッシュでの回収は致しません。申込み単位ごとに、受付でお渡しした封筒にいれてまとめて本部まで返却して下さい。

◆公式掲示板

当日直前までに生じた変更、重要なお知らせなどは、公式掲示板でご案内致します。各自で必ずご確認下さい。また、重要な情報に関しましては、出来るだけ早くwebの方でもご案内していきます。大会直前はマメにチェックするようお願いします。

◆当日参加

クラブカップリレーでは当日参加はありません。前々日までに何らかの形で問合先まで連絡をいただければ、チーム作成には最大限善処致します。また当日はオープン扱いになりますが、スタート後のメンバー変更も可能です。メンバーのやりくりで１人何回も走る例がここ数年頻発していますので、会場に来てもらえば、走れないということは、まず無いかと思います。

◆使用地図

「駒ヶ根高原2010」」Ａ４判、ビニル袋入、ＪＳＯＭ２００７

縮尺　１：７，５００（１，２，４，５走），

　　１：１０，０００（３，６，７走）

等高線間隔　５ｍ　走行可能度　４段階表示

※7,500分の1地図は、単に10,000分の1地図を相応に拡大したもので、地図表記としての基準はJSOM2007に基づく、同じものです。

※競技中に今まで公表されたいかなる地図も、参照することを妨げません。これから走る人に該当のコースを見せることだけは、ご遠慮下さい。

◆テレインプロフィール

今回は、駒ヶ根高原の中でも最も使いでのある扇状地部分に戻ってきました。すでに言い尽くされていますが、このテレインの特徴は、扇状地なのでupが少ない。走行可能度も極めて良好。しかし、富士や日光のテレインのように先を見通すことができない、植相の変化が激しいなどの要因で、難易度の高いテレインであるということができます。そんな中、各走区にいかにバリエーションに富んだ特徴あるコースを提供するか、大変腐心致しました。

◆コース設定者

山川克則（監修：木村佳司）

◆競技の流れ

◇スタート

クラブカップ　９：００　ベテランカップ　９：１０

スタート10分前になりましたら、各チームの第１走者はナンバーカードを体の前面に着用し、e-cardの動作確認を済ませ、自分の使用地図を持ってスタート地点（管理棟前の路上）に集合して下さい。番号順に横10人ずつ整列して下さい。

e-cardが無い人、ナンバーカードを着用していない人はスタートできません。また、バックアップラベルは各自で装着して下さい。

競技地図は半分に折った状態でセロテープで固定しています。地図を開くのは、スタートの合図後になります。

会場からスタートフラッグまでは赤白テープ誘導で500mです。地図上の△の中心が、スタートフラッグの位置になります。

◇競技

コントロールは指定された順番に回ってください。

通過証明は、e-cardをユニットにしっかりとはめ込んで下さい。

使用するシューズに制限はありません。

１走の1番・２番コントロール他、競技者が集中するコントロールには、ユニットが複数設置されています。

今回は競技途中のビジュアルゾーンがありませんが、テレイン内給水所は設置していません。レース前に十分な水分補給をするか、携行の給水装備を各自でご用意下さい。６走・７走で横断する清流の水は飲用してもまず問題はありません。（少なくとも私には全く問題ありません。）

一度スタートした競技者は、レース中のアクシデントなどで棄権する場合も必ずフィニッシュを通過して、e-cardの読み取り作業を行ってください。会場まで行き着くことができない事情が生じた場合は、他の競技者に何らかの方法で情報が本部に伝わるようにお願いします。無連絡の場合は、行方不明者となり、大変な負担が運営側にも参加する方にも生ずることになります。

◇チェンジオーバーとe-cardの読取

ラストコントロールからは図のような誘導に従って下さい。

次走者は前走者が会場内をＳ字形に回る間に出走準備をして下さい。出走準備とは、自分の走順のナンバーカードを体の前面に着用し、朝配布された地図封筒から自分の使用地図をピックアップし、待機枠入口のe-card起動ユニットにバックアップラベル装着済みのカードをはめて起動確認し、チェンジオーバーに備えることです。起動確認時にカードの不具合があった場合は直ちにその旨を役員に申し出て、その指示に従って下さい。また、カードの起動処置をしないまま出走すると、折角の記録がカードに残らず失格となることもありますので、くれぐれもご注意下さい。

チェンジオーバーは、前走者が次走者の体のどこかにタッチすることで成立します。地図はチェンジオーバーの後開いて見て下さい

前走者は、チェンジオーバー後順序を崩さず、e-card読取場所までお進み下さい。失格と判定された方には、失格が確認できる資料をお渡しします。その上で、不審点・疑問がある場合のみクレーム申告を行って下さい。

競技使用済の地図は回収致しません。これから競技を行う人には見せないようにお願いします。

◇リススタート（繰上げスタート）とフィニッシュ閉鎖

１次リスタート　13:00頃（対象：５走までの未出走者）

２次リスタート　14:20頃（対象：６走・７走の未出走者）

リスタートは、当日の競技の進行状況によって、変更されることが大いにあり得ます。会場でのインフォメーションにご注意下さい。リスタート10分前には、待機枠に対象者は出走の準備をして集合するようにして下さい。リスタートにかかっても、各走者が失格なしで完走している限り、チームとしては完走扱いになり、所要タイムの合算で順位を決します。

フィニッシュ閉鎖は16:00です。リスタートにかかった競技者も最低限100分の競技可能時間を確保することを担保できるよう競技運営を致します。

フィニッシュ閉鎖時刻までに戻ってこない競技者がいた場合は、チームの責任において本部まで届けるようにして下さい。本大会では、未帰還者の確認はチームの責任範囲として扱います。

◆各走区の概要（最速予想タイム）コース情報は最終確定版です。

Webに掲載されているコース監修者木村のコメントも参照下さい。

１／２走（２８分）　　3.7km～3.8km　up170～180m

クラブカップ最終回ということでひとつネタばらしをしておきましょう。クラブカップの（少人数）運営体制では、万全の運営体制を敷く他の（選手権的）リレー競技と違って、競技者の過度の集中に対する運営能力の耐性は極めて脆弱です。それをクリアする手段として、（意図的に）１走フィニッシュで競技者が集中しないように、１走のコース難度を調整しています。今回もその例にもれず、アップこそ抑えていますが、１／２走は難しいです。特に１番コントロールが難しいです。急なアップダウンの深い沢横断無しで、レッグを生かしながら最大限長く難しくしてあります。また前述のように、走行可能度は良くても、先の見通しがありませんから、他の違うコースのランナーにひきづられてしまうとリカバリも大変なことになります。１走とは言え、自分のペースでレース運びする方が得策です。しかしそこは大

人数のクラブカップリレー、１／２走ですべて終わってしまってはそれこそ興ざめです、そういうことのないように、硬軟織り交ぜて立ち直りは容易なようにコースは出来あがっています。全体的には、きわめてオーソドックスなリレーコースと言え、難度的にはインカレＷＥもしくはやや難しい程度、駒ヶ根高原扇状地の森の中をひたすら直進していただきます。

３走（３５分）　5.4km　up130m

いろいろ検討はしてみたものの、勝つためには全部直進しかないようなコースでは全体としては難しすぎるという監修者チェックにより、結局今年もコントロール位置は、すべて明確な道上、コントロール間も大半はトレイルランニングで、コースの２割から３割ほどが、ルート選択によっては、大胆な直進の方が速い、というコースになりました。細かいナヴィゲーション能力はほとんど必要ありませんが、直進する場合は慎重な方向感覚が必要であることは言を待ちません。

４走（２５分）　3.3km　up120m

１・２走よりは、かなり簡単なコースになっています。コントロール位置は、すべて道上か、道から明確に見通せる範囲の近くに置かれています。コントロール間は、道をたどるか、直進するかは、人によって違うとは思いますが、その割合は、だいたい半々位です。これが個人レースだとしたらＭ６５で、距離はこの程度でもコントロール位置は少し易しめだと思います。

５走（２０分）　2.6km　up85m

コースのテイストは４走と同じですが、４走よりさらに距離を削って、アップを大幅に削ったコースが５走と言えます。これが個人レースだとしたら、まさにＷ６５そのものといっても過言ではないでしょう。つまり３走のように過度に簡単すぎるようにはしていませんが、コントロール位置は道に近く、リカバリも容易になっています。アップをなくした分、４走よりは直進の割合は増えます。

６走（３７分）　4.7km～4.9km　up190～200m

今までの走順とは一転、６走は一気に難しくなります。バリエーションを７走と組む関係上、そのつどテレインの条件に重要度が引きづられてしまう傾向が６走には宿命的にあります。昨年のコースでは単純に７走の２／３の重要度というでしたが、今年の６走は、それ以前のクラブカップリレーを考え合わせても、最も重要度が高い難しいコースであると言えるかもしれません。つまり、駒ヶ根テレインでは、７走ではさわやか系の場所で距離を稼いでも、その区間を６走では、難しい気の抜けないミドルレッグにならざるを得ない、ということになります。この走順からコースの途中に激斜面も登場します。

７走（４４分）　5.7km～5.8km　up310～320m

この走順では、問うことのできるすべての課題を盛り込んで、エース対決にふさわしいコースを用意しました。しかし、ここでもむやみなアップを入れ込むと、チームとしての完走に支障がでるだろうということでコースを調整していったら、要項提示の45分より確実に何人かが速く走ってしまうだろうというコースに仕上がりました。

今回の７走の特徴は、1985年3月にこの地で近代オリエンテーリングの活動を開始して以来、リレー競技では今まで一度もお目見えしなかった特長あるレッグを入れ込んだ、ということであります。（多分、強化合宿などではこなしていらっしゃる方もいると思いますが、実際に本番のリレー競技でこういうレッグがお目見えするのは、私の記憶の限り初めてだと思います。）ここをどうこなすかで全体の勝負の行方が決することも十分考えられます。

☆ベテランカップは、クラブカップの１，２，４，５走を採用。

◆レギュレーション

下記基準を満たしたチームが正規チーム（表彰対象）となります。それ以外はオープンとなります。正規か否かは自己申告を基本とします。

【制限選手A】ア:50歳以上男性　イ:15歳以下男性
【制限選手B】ア:40歳以上男性　イ:18歳以下男性
【制限選手C】35歳以上男性
【制限選手D】学生クラブの新入生

★共通
1. 正規／オープンの申告は前日提出の走順票にて自己申告となります。
17時までに所定の用紙で本部に提出か、20時までに電子メールで提出してください。
2. 当日の朝クラブカップクラススタート10分前までに、事由書とともに変更届を提出すれば正規扱いになります。事由書は診断書までは求めません。「メンバーが急に来られなくなった」程度のもので構いません。前日までにメンバーの最終登録がない場合、事由書の無い当日の変更、スタート後の変更（ケガで2回目の出走ができなくなった等）は、全てオープン記録扱いとなります。
3. 申込時に正規基準を満たしていなくても、仮メンバーで正規チームとしてエントリーすることは可能です。事前申告がオープンチームの場合、前日もしくは当日に正規チームへ変更することができません。
4. 申込期限、様式は必ず守って下さい。
5. 年齢は2011年3月31日現在の満年齢とします。
6. その他不明点はお問合せ下さい。

★クラブカップクラス
7人1チームのポイントOLによる男女ミックスリレー
1. 女子2名以上を含む男女ミックスチームであること。
2. 7人とも同一クラブ員であること。
（大学クラブ等で活動を共にしているクラブを含む）
3. チーム構成員全員がその日初めてのレースであること。
4. 女子2名をチーム構成員とすることが適わない場合、以下のように特例措置を設ける。
4-1　女子1名につき、制限選手Aに該当する男性をもって替えることができる。
4-2 「4-1」で代替した【制限選手A】を起用することが適わない場合、1名につき、2名の【制限選手B】に該当する者をもって替えることができる。
4-3 「4-2」で代替した【制限選手B】を起用することが適わない場合、その1名につき、2名の【制限選手C】に該当する者をもって替えることができる。
5. 現役大学生のみのチームにおいては、以下のような特例措置を設ける。
5-1　チームに女子1名を含む男女ミックスチームであれば、その構成員の年齢は問わない。
5-2 「5-2」で女子1名を起用することが適わない場合、その替わりとして、2名の【制限選手D】をもって替えることができる。
6. 高校生以下のみのチームにおいては、構成員に関する制限を一切設けない。

★ベテランカップ
4人1チームのポイントOLによるリレー
1. 4とも同一クラブ員であること。
2. チーム構成員全員がその日初めてのレースであること。
3. 構成員のうち3名以上が40歳以上女性、もしくは50歳以上男性であり、年齢ポイントが200以上であること。かつ、構成員全員が30歳以上であること

◆速報・成績表

◇速報

一覧表形式の速報を随時掲示します。また、放送で戦況を実況します。フィニッシュ閉鎖後、すみやかに結果をラップセンターにアップロードします。

◇成績表

大会終了後、できるだけ速やかに、web上にて最終の確定成績を発表します。

◆表彰

◇クラブカップクラス

上位６位までの正規チームを表彰します。

◎特別表彰（正規チームに該当する下記５チームを表彰します）

・over300points
年齢ポイントが３００を超えるチームで一番成績が良かったチーム

・ヤングチャンピオン
年齢ポイントが１５０（女性加算無し）を下回るチームまたは、学生・生徒のみ編成されたチームの上位３チーム

・ファームチャンピオン
各クラブの第２位のチームで一番成績が良かったチーム

◇ベテランカップクラス

上位３位までの正規チームを表彰

◎特別表彰

・年齢以外の正規規定を満たすチームで一番成績の良かったチーム
※「年齢ポイント」とは、チーム全員の２０１１年３月３１日現在の満年齢（女性は＋１０）の合計。但し、「ヤングチャンピオン」では女性の＋１０の加算無し。

◆キッズＯ

小さなお子様用、観戦の家族連れ様用に、簡単で気軽に楽しめる1km未満のコースを用意します。参加費２００円・当日申込のみ（お子様には参加賞があります）

◆地図販売、その他の販売物（コンパスなど）

随時行います。

◆各クラブからのインフォメーション

今後の大会を控えた各クラブや各団体の案内を掲示・配布する場所を本部近くに設けます。また、随時空き時間などに案内放送できる機会も設けますので、積極的にご活用下さい。

クラブカップリベンジ　　９月２０日

（駒ヶ根ロゲイニング2010／5時間競技は別プログラムとなっています）

三連休最終日のメインメニューは５時間競技の駒ヶ根ロゲイニングになりますが、その競技の間を利用して、クラブカップで使用したコースをそのまま利用して、リベンジレース（復習レース）の機会を用意します。長い競技であるロゲイニングは苦手だ、折角の３連休を目いっぱい楽しみたい。耐久系の競技でなく、もっとナビゲーションのゲームを楽しんでいきたいという方は是非チャレンジしてください。規定の時間内（13:00まで）なら何回でも、どんなコースを走っても参加費は同じで、計時も全部行います。クラブカップリベンジの当日申込みは、地図と運営に余裕のある限り対応致しますので、どうぞもう１泊駒ヶ根に泊まっていって、ナヴィゲーションパラダイスを遊び尽くしていって下さい。

◆参加費（当日申込も同額）

一般	２，０００円
大学生以下	１，５００円
e-cardレンタル（＊後述に注意）	＋３００円

※マイカード使用できます(むしろ推奨)。レンタルe－card費用は、本競技単独でのレンタルになります。クラブカップでレンタルされたカードはクラブカップ当日にいったんすべて回収しますので、使いまわすことは出来ません。当日参加も残り地図に余裕のある限り受け付けます。

◆受付・スタート・フィニッシュ閉鎖

受付	9:15～11:45
スタート（各自）	9:30～12:00
フィニッシュ閉鎖	13:00

時間内であれば、走るコースを役員に申告して自由に遊んでくることができます。計時もしっかり致します。

駒ヶ根ロゲイニング 2010　　９月２０日

（駒ヶ根ロゲイニング2010／5時間競技は別要項となっています）
※申込みは3日間大会として同時に行えます。

駒ヶ根ロゲイニングについては、別に作成するプログラムをご覧下さい。（公式webからリンク）

会場である家族旅行村からのお知らせ

◆露天販売・レストラン

大会会場にはレストランがあります。駒ヶ根名物「ソースカツ丼」もここで賞味できます。今般特に力を入れているのが新開発商品である「ソースカツサンド」、本商品の特売を行っていますので、是非一度味わってみて下さい。また、観光案内所（駒ヶ根ファームス）でのオリエンテーリングイベントではいつも大好評の、地元すずらん牛乳で作ったソフトクリームをレストランでも扱っています。（あの濃～いやつといえば思い出す人も多いでしょう）こちらも超おすすめ商品です。

◆露天「こぶしの湯」

本プログラムに掲載された割引券利用で、通常 600 円のところ割引価格 500 円にて、利用することができます。なるべく参加者の方のほうで事前に印刷してきて利用していただきたいのですが、同じ割引券を大会本部にも用意しておきます。大会期間中は、連休中ということで、多くの一般利用者の方もおられます。譲り合って利用するようにして下さい。また、建物内を泥で汚すことの無いよう、外の水道で綺麗に泥を落としてから入浴するよう厳守して下さい。過去に泥を持ち込んで心象を悪くしたことがありますので、今後のテレイン利用のためにも、くれぐれもよろしくお願い致します。

問合せ先　　大会期間中は山川（０９０－８０４１－４６７３）までお願いします。

原則として緊急でない限り電子メールでお願いします。

大会後の問合せ　〒１１２－００１５
東京都目白台１－１７－８－１０４
TEL　０３－６３８３－２０６１　FAX　０３－３９４４－９０５８

Eメール：clubcup@genesysmap.co.jp　大会webサイト　http://www.orienteering.com/~clubcup/

有限会社ジェネシスマッピング クラブカップ2010事務局

競技中止の可能性について

基本的に長野県南部に気象上の警報が発令された場合には、大会を中止します。

この地区にひとたび集中豪雨が襲うと、テレイン内部の川が大増水して非常に危険な状態となります。このような場合には市当局の判断で、テレイン上部の山手林道の通行禁止措置が取られ、我々もその措置にしたがうことになります。雨が止んだあとも、アルプス山脈に降った雨が一気に流れ込むため、川が増水し数日間危険な状態が続くことがあります。このような場合は主催者判断で、テレインへの立ち入りが危険であると判断される場合については競技を中止します。その点ご了解下さい。

また、ここ数年熊の出没も報告されています。(参考:http://www.shinmai.co.jp/news/20100902/KT100901SJI090011000022.htm)
今年の競技準備中、まさに今回のテレイン内に、熊用の罠が仕掛けられたのも確認しています(地図上では×で表記)。熊鈴を持っていらっしゃる方は、携行して競技してくださることをお願いします。クラブカップほどの大規模な集団がテレインに入れば熊も逃げていくとは思いますが、市の判断でこのことによって大会が中止になることもあり得ることを、了解しておいて下さい。

競技中止・対処方法についての案内方法
◆大会公式ウェブサイト　◆大会公式掲示板

プログラムver1.0　2010年9月11日発行

（第 18回）クラブカップリレー2010 最終オーダー登録用紙(紙提出用)

チーム No.				
チーム名				
参加クラス		クラブカップ or ベテランカップ		
参加形態		正規 or オープン		
特別表彰対象		over300 or young		
走順	氏名	年齢	性別	生年月日
1 走				
2 走				
3 走				
4 走				
5 走				
6 走				
7 走				

生年月日はエントリーの時に名前を届けなかった方の場合にお書き下さい

すべてのチームが改めてのオーダーの提出が必要です。紙提出の提出期限は、前日の18日17時30分本部受付までです。本用紙は受付にも常備してあります。メール（PC or 携帯）での提出締切は20：00です。別項で述べる所定のフォーマットに従って提出して下さい。

正規チーム扱いの当日朝になってのメンバー変更は、8：30まで紙提出方式のみで受付けます。但し、前日締切時刻までに所定の方法で提出していることが必要です。変更には、事情書の提出が必要です。事情書は「当日朝にならないとメンバー確定ができなかった」程度のもので構いません。メンバーのやりくりなどで、スタート後にメンバー変更する場合も必ずこの届けを本部まで提出して下さい。（この場合は、オープン扱いになります。）

（事情書）

	役員受時刻	署名	